





施設等利用費の請求方法について

保育園、認定こども園（保育園部分）、小規模保育事業所、事業所内保育事業所（地域枠）、企業主導型保育事業所を利用している場合は対象となりません

支給の対象となる場合

	幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）に通っている方	左記以外の方
利用料	幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育※を利用する場合の利用料（本料を除く） <small>※ 利用する施設が預かり保育を実施していない等の場合、認可外保育施設等の利用料も月額上限額（11,300円又は16,300円）の範囲内で支給対象となります。</small>	認可外保育施設（ベビーシッターを含む）、一時預かり、病児保育、ファミリー・サポート・センターの利用料
対象	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>満3歳児 クラス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3～5歳児 クラス</p>  </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>0～2歳児 クラス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3～5歳児 クラス</p>  </div> </div>
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>住民税非課税 世帯のみ</p> <p>月額 16,300円まで</p> <small>※ただし450円×利用日数の範囲内</small> </div> <div style="text-align: center;"> <p>月額 11,300円まで</p> <small>※ただし450円×利用日数の範囲内</small> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>住民税非課税 世帯のみ</p> <p>月額 42,000円まで</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>月額 37,000円まで</p> </div> </div>

※ 保護者の就労等により、家庭での保育が困難である世帯に限ります

請求手続の3ステップ

- 1 無償化の対象として「確認」を受けた施設を
- 2 「給付認定(2号・3号)」を受けたお子さんが利用した場合
- 3 保護者からの請求を受けて広島市が支給します

請求の詳細は次ページから⇒

ステップ①【確認】

預かり保育や認可外保育施設等の利用料についての施設等利用費の支給を受けられるのは、市町村から無償化の対象であることの「確認」を受けた施設・サービスを利用した場合です。

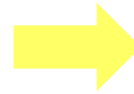
広島市内の対象施設・サービスは広島市ホームページ「確認を受けた施設・サービス」をご確認ください



ステップ②【認定】

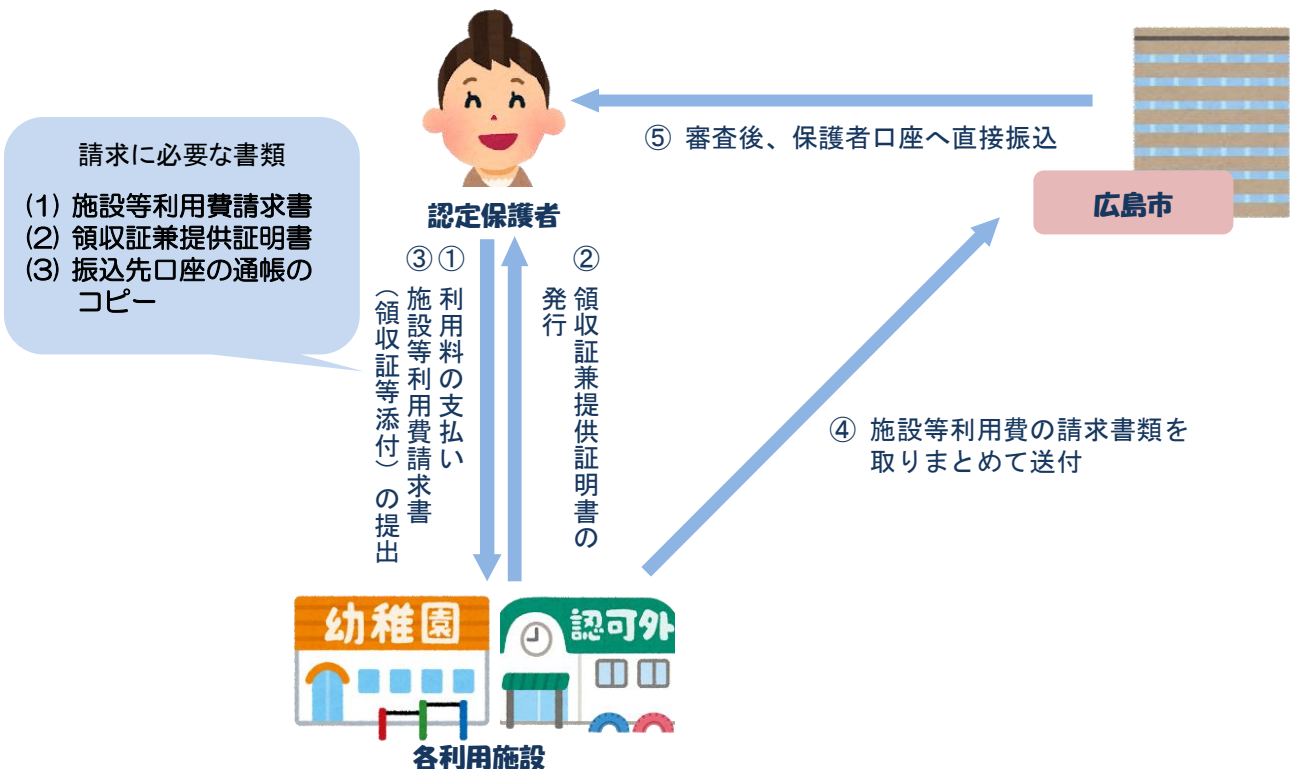
預かり保育や認可外保育施設等の利用料についての施設等利用費の支給を受けるためには、「施設等利用給付認定(2号・3号)」を受ける必要があります。

施設等利用給付認定については広島市ホームページ「認定の手続について」をご確認ください



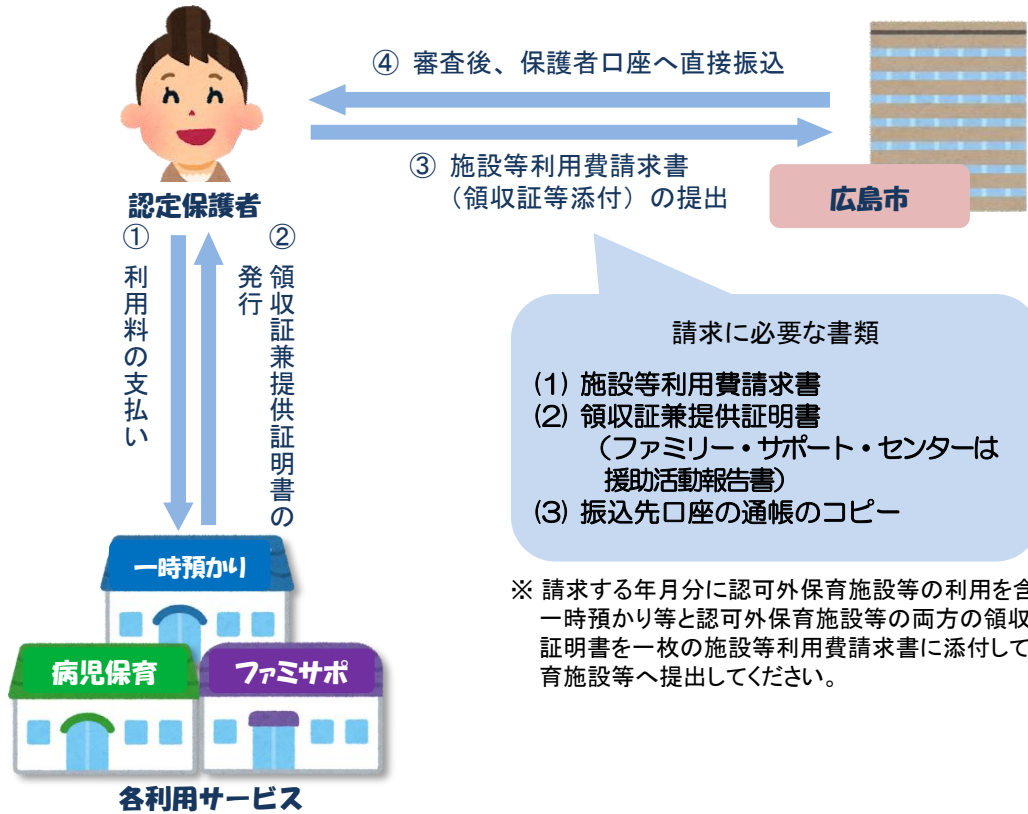
ステップ③【請求の流れ】

幼稚園・認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育、認可外保育施設を利用した場合



利用料の請求は、(1)施設等利用費請求書、(2)領収証兼提供証明書、(3)振込先口座の通帳のコピーを、各利用施設へ提出してください。

一時預かり、病児保育、ファミリー・サポート・センター、
ベビーシッターを利用した場合



利用料の請求は、(1)施設等利用費請求書、(2)領収証兼提供証明書(ファミリー・サポート・センターは援助活動報告書)、(3)振込先口座の通帳のコピーを、広島市こども未来局保育企画課へ郵送してください。

【共通注意事項】

- ・施設等利用費請求書は、利用施設・サービスにより様式が異なります。
- ・請求者は、施設等利用給付認定保護者としてください。
- ・兄弟で利用されている場合も、児童一人につき一枚記入してください。

各施設等利用費請求書の詳しい記入方法については、
広島市ホームページ「請求方法」をご確認ください。



請求
締切

◎ 給付請求の受付は四半期ごとに行います。

施設利用期間	請求締切日	支払予定日
4 ~ 6月分	7月15日	9月30日
7 ~ 9月分	10月15日	1月4日
10 ~ 12月分	1月15日	3月31日
1 ~ 3月分	4月15日	6月30日

※ 締切日及び支払予定日が、土日祝日の場合は直後の開庁日となります。

※ 支給が決定した方には、決定通知を発送します。

※ 施設によって、締切を別途設定されている場合はその指示に従ってください。
各請求締切に間に合わなかった場合は、次回の支払いとなります。

よくある質問

Q1. 幼稚園等の預かり保育は、月額いくら支給されますか？

A1. ①～③いずれか低い額が支給されます。

①実際に支払った預かり保育料（おやつ代や文房具代等を除いた部分）

②450円×利用日数

③月額上限額（学齢によって以下に分かれます）

満3歳児クラス在籍者（満3歳に達してから3月31日まで）は、保育の必要性があり、住民税非課税世帯に該当する場合は16,300円、3～5歳児クラス在籍者は保育の必要性があれば11,300円です。

Q2. 認可外保育施設等は、月額いくらまで支給されますか？

A2. 0～2歳児クラス在籍者は、保育の必要性があり、住民税非課税世帯に該当する場合は上限42,000円、3～5歳児クラス在籍者は保育の必要性があれば上限37,000円です。

Q3. 幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）と認可外保育施設等を併用していますが、どちらの利用料も支給されますか？

A3. 施設によって異なります。幼稚園等が①預かり保育を実施していない、②1日の開園時間が預かり保育を含めて8時間未満、③年間の開園日数が200日未満のいずれかに該当する場合は、幼稚園等に加え、認可外保育施設等の利用料も月額上限額（11,300円又は16,300円）の範囲内で支給対象となります。

Q4. 請求の締切に間に合わなかった場合は、どうなりますか？

A4. 締切に間に合わなかった場合でも、給付は受けられます。次回の請求期日までに請求書類を提出してください。4～6月利用分について、7月15日までに提出ができなかった場合は、9月ではなく12月の支払いとなります。その場合は、4～9月分をまとめて10月15日の締切までに提出してください。一部の領収証兼提供証明書が締切までに間に合わない場合は、間に合う月分だけの請求も可能です。

Q5. 請求者は父母どちらでもよいですか？

A5. 請求は認定保護者のみ可能です。請求書に記載する保護者は、認定保護者に限ります。認定保護者は、施設等利用給付認定を受けたときに送付された「施設等利用給付認定通知書」に記載されています。

Q6. 子どもの口座に振込できますか？

A6. できません。認定保護者（請求者）名義の口座への振込となります。

Q7. 「施設等利用給付認定通知書」を紛失してしまい、認定番号が把握できない場合は、どうすればよいですか？

A7. 認定を受けた区（広島市内の幼稚園、認定こども園（幼稚園部分）の預かり保育を利用する方は施設の所在する区、その他の方はお住まいの区）の福祉課にお問い合わせください。

Q8. 請求の期限はありますか？

A8. 期限（時効）は2年ですので、ご注意ください。

Q9. 領収証兼提供証明書を紛失してしまった場合でも、請求可能ですか？

A9. 請求できません。施設等に再発行していただき、書類を揃えた上で請求してください。

▼▼▼ 制度の詳細については下記をご覧ください ▼▼▼

■ お問い合わせはこちら

■ ホームページはこちら

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 市ホームページ (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/>)

広島市こども未来局保育企画課

TEL 504-2153 FAX 504-2255



→「暮らし・手続き」→「子育て」
→「保育園・認定こども園・幼稚園」
→「幼児教育・保育の無償化」